



□牧草(チモシー) 今年の生育について

4月は日照不足等もありましたが、5月上旬は気温も高く、平年並の生育状況です。ほ場を確認し、収穫準備を整えましょう！

(宗谷管内の平年の出穂始めは6月11日、出穂期は6月15日です。)

□牧草サイレージ 良質粗飼料確保のポイント

草地に余裕がある場合は、例年より待たずに出穂が見られたら収穫を始めましょう！

○ラップサイレージ

- ・予乾は原料草を握った時に手が湿らない位(水分60%以下)が目安。
- ・ロールバール成形後は、速やかにラップで密封する。
- ・ラップは、4層巻き以上で行う。長期保管や刈り遅れで茎が固くラップが破損する恐れがある場合は、6層巻き。
- ・保管は、フィルムのズレやロールバールのつぶれを防ぐため、縦に積む際は2段まで。また、ネットをかけるなど鳥獣害対策を行う。

○細断サイレージ

- ・バンカーは、使用前に清掃し、破損箇所はテープ等で補修。
- ・ほ場からの土や堆肥の混入を防ぐため、刈高は10cm以上。
- ・しっかり踏圧し、空気を抜く。壁際は踏圧しにくいので意識して踏圧する。
- ・運搬車からの土砂混入防止対策として、バンカー手前にホタテの貝殻や刈草を敷くことも効果的。

□追肥について

追肥は、分けつを増やすことで翌年の牧草率維持に繋がります。牧草率を増やし、雑草を抑制しましょう！

○追肥の適期は、チモシー主体草地は、刈り取りから5~10日後
オーチャードグラス主体草地は、刈り取り後すぐ

○植生が良いほ場や収量が高いほ場を優先する

○追肥例 (3回刈りの場合)

	施肥量(kg/10a)	N	P	K
565K	20kg	3.0	1.2	1



生草分析データは
こちらへ！

*****農作業機の点検・整備時は、エンジンを止めてから！*****